

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅱ-5-1 道路網の整備と維持管理
---------	------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	道路建設課長 井田 悦男	電話番号	0852-22-6456
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	幹線道路整備事業
目的	(1) 対象 県民・道路利用者 (2) 意図 高速道路インターチェンジや生活圏中心都市等への移動時間を短縮する。
事業概要	県内各地とインターチェンジや広域市町村圏中心都市を連絡する道路など県内道路網の骨格となる幹線道路（県管理の一般国道全てと県道の約1/3で構成）を、国庫補助事業や交付金事業、県単独の道路整備事業を活用しながら、未整備区間を2車線以上に改良する整備事業を推進する。

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	幹線道路の2車線改良率	目標値	85.0	86.0	87.0	88.0	%
	式・定義	幹線道路の改良済み（車道幅員5.5m以上）延長/同全体延長	実績値	84.0				
		達成率	-	-	-	-	-	
2	指標名	緊急輸送道路（緊急輸送道路ネットワーク計画で指定した道路）の2車線改良率	目標値	90.0	90.0	90.0	91.0	%
	式・定義	緊急輸送道路の改良済み（車道幅員5.5m以上）延長/同全体延長	実績値	89.0				
		達成率	-	-	-	-	-	

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	10,563,319	11,251,653
うち一般財源(千円)	587,549	624,344

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・県内の国・県道の2車線改良率は、全国平均76.5%に対し67.2%（全国40番目）と大きく下回っている。（平成26年4月1日現在の数値）  
 ・島根県が管理する幹線道路においては、84%の改良率となっている。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 平成27年度は下記工区が供用開始した。
- 1. 国道432号 大庭バイパス L=820m
- 2. 国道485号 西村工区 L=222m
- 3. 浜田作木線 雪田工区 L=838m
- 4. 桜江金城線 追原工区 L=300m
- 5. 西郷都万郡線 大津久2工区 L=1,160m など13工区

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」  
 ・未整備区間については、大規模な構造物の建設や多額の用地買収を伴うなど大きな事業費が必要であるが、予算の確保が困難な状況となっている。
- ②困っている状況が発生している「原因」  
 ・財源となる国の交付金については、個別の事業毎の配分ではなく、大きな枠での配分となっており、特別な需要に応じた要求が反映されにくい状況となっている。  
 ・近年は、既存施設の老朽化対策や通学路の安全対策の分野に厚く配分され、通常の道路改良への配分は低く抑えられる状況となっている。
- ③原因を解消するための「課題」  
 ・地域の実情に応じた国費の配分

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・国に対し地域の実情に応じた予算が配分されるよう丁寧に状況を説明するとともに、国の予算配分方針等を的確に把握し、工夫しながら、必要な予算が配分されるよう要望していく。

## 9. 追加評価（任意記載）

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。  
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。